



2024年8月2日

本日の基準価額の下落について 「断固としてさわかみのリズムを貫きます。」

本日のさわかみファンドの基準価額は5.12%下落しました。新NISAの開始に合わせて投資を始めた方や、初めての急落に不安を感じるファンド仲間もいらっしゃると思いますのでこの急落の背景と、さわかみファンドがどのように考えているかをお伝えします。

まず、このような急落になった直接的な背景は、米国の景気減速が鮮明となってきたことと、国内では日本の金融政策が金融引き締めへと転換したためです。具体的には7月31日に行われた日本銀行による0.25%の利上げが、円高を引き起こし、日本企業の、特に海外で大きく稼ぐ企業の収益を圧迫するという連想で急落していると考えます。0.25%の利上げは決して大きくはありませんが、ここから更なる複数回の利上げにつながるのではないかという懸念もあります。加えて、金利が上がると日常生活でも住宅ローンや自動車ローンの金利上昇など、様々な場面で影響が出るため今後の個人消費にも影響が懸念されます。このような複合的な要因でパニック的な売りにつながっています。

今回の急落は短期で見ると、行き過ぎた円安の恩恵を受けてきた企業や、半導体を中心とした過剰に期待を集めてきた企業への大きな調整であり、また、金融政策も過度な金融緩和が正常化へ向かっていると解釈するならば、一時的には調整が入ったとしても、日本もようやく金融正常化が進み、金利がある世界を前向きに捉える時が来るでしょう。以前から金融緩和によって支えられてきた株式市場に調整局面が訪れると想定してきました。実際に現金比率を約12%程度に保ちつつ、割高となった株式の一部資産を現金に変えてきたのは、このような下落の影響を緩和し、さらにこの下落局面で買い進めるためです。

さわかみ投信には25年に渡って培ってきた体験知性があります。ITバブルもリーマンショックも東日本大震災後の混乱も「さわかみの長期投資のリズム」を堅持し堂々と乗り越えて来ました。当ファンドの組入企業は徹底調査を通じて、より良い未来を共に創っていくと覚悟を決めたパートナーです。強力なタッグを組んでいる企業の株価が、ボロボロに売られているのを見て見ぬふりはできません。今後、さらに株価が下がることもあるかもしれませんが、一緒に戦う仲間の企業を応援するため覚悟をもって行動します。日本経済や社会の活性化は、生活者、企業、長期投資家の勇氣ある自助自立の行動に委ねられていると信じています。引き続き三人四脚で力強く航海を続けていきましょう。

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
さわかみファンド	37,506	-2,024	-5.12%

さわかみ投信株式会社
取締役最高投資責任者 黒島 光昭

さわかみファンドについて

- 経済の大きなうねりをとらえて先取り投資することを運用の基本とし、その時点で最も割安と考えられる投資対象に資産を集中配分します。
- 将来価値から考えて、市場価値が割安と考えられる銘柄に選別投資し、割安が解消するまで持続保有する「パイ・アンド・ホールド型」の長期投資を基本とします。
- 「割安であること」の判断の精度を維持・向上するために、経済全般および個別銘柄について徹底したリサーチ活動を継続します。

当ファンドは、運用の成果について目標とするベンチマークは設定しません。上記のスタイルを一貫し、これを変えることは致しません。当ファンドの運用にあたっては、短期的な成績向上を狙うような無理な投資はしませんが、必要と考えるリスクは敢然と取ります。また、長期的な運用成果を向上させるため、株主総会での議決権行使なども積極的に行ってまいります。

当ファンドの運用方針は長期運用を前提としているため、ファンド資産の激しい変動は運用効率を著しく阻害しますので、短期保有目的でのご購入はご遠慮ください。

お申込みメモ

リスク	さわかみファンドは、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当ファンドの基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て当ファンドの投資者（受益者）の皆さまに帰属することとなります。また、元本および利息の保証はなく、預金保険の対象ではありません。したがって、投資者（受益者）の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その損失に耐えうる以上に当ファンドに対して投資することはご遠慮ください。投資信託は預貯金とは異なります。		
購入時手数料	ありません。	信託報酬	当ファンドの純資産総額に対して、1.10%（税込・年率）です。
信託財産留保額	ありません。		
その他費用・手数料	当ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に対する消費税等相当額、先物取引・オプション取引等に要する費用、一部解約金の支払資金の手当を目的とした借入金の利息は、信託財産中から支弁します。※これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。		
留意事項	投資に当たっては、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をよくご覧いただき、ご自身で判断してください。「投資信託説明書（交付目論見書）」のご請求は「ご縁の窓口」（TEL:03-6706-4789）までお申込みください。		

【ファンドの委託会社その他の関係法人の概要】

- 委託会社: さわかみ投信株式会社
- 受託会社: 野村信託銀行株式会社
- 販売会社: さわかみ投信株式会社



さわかみ投信 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第328号 一般社団法人 投資信託協会 会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員
〒102-0082 東京都千代田区一番町29-2
TEL:03-6706-4789 FAX:03-5226-7981 <https://www.sawakami.co.jp/>